

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費 (薬剤師等病棟業務実態調査費)			担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	医療課		迫井 正深		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会保険医療協議会法 (昭和25年法律第47号) 第8条 第2項			関係する計画、通知等	平成28年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見 (平成28年2月中央社会保険医療協議会)				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中央社会保険医療協議会の平成28年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見において、「医療従事者の負担軽減にも資するチーム医療の推進等について、引き続き検討すること。」とされているところであり、薬剤師や関係職種の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討・検証するために、薬剤師や関係職種の病棟業務に係る実態等の調査を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全病院から抽出した保険医療機関を対象に、勤務医の薬物療法関連についての負担意識や薬剤師の病棟における業務の状況等についてアンケート調査を行い、提出された調査票の集計、分析を行い、その分析結果について内容の検証、評価を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	11	11	11	11	11		
	執行額	11	5	0					
	執行率 (%)	100%	45%	0%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	45%	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	社会保険基礎調査委託費	11	11						
	計	11	11						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績						
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	本調査は、診療報酬に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、直接的に測ることのできる指標を示すことは困難であるが、間接的な指標として、調査に対する施設の回答率を指標とした。			調査に対する施設の回答率 (ただし、回答率は質問項目数により増減する可能性を考慮し、成果実績としては、回答施設数と調査項目数を掛け合わせた回答総数とした。)					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 -年度	
	調査に対する施設の回答率	間接的な指標として、調査に対する施設の回答率を指標とした。	実績	回答総数(千問)	27	20	0	-	-	
			目標値	回答率	100	100	0	100	-	
達成度			%	42	66	0	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	本調査は、保険医療機関の業務を対象とした調査・分析・集計等を実施するものであり、詳細な活動指標を示すことは困難であるが、調査対象とする施設数を指標とした。	活動実績	調査施設数	1,000	1,000	0	-			
		当初見込み	調査施設数	1,000	1,000	0	1,000			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	千円	0.4	0.3	0	0.6	
	X: 執行額 Y: 回答総数			計算式	X(百万円)/Y(千問)	11/27	5/20	0	11/20	
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	施策	施策目標 I-9-1 データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること								
	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
		-	実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	全病院から抽出した保険医療機関を対象に、勤務医の薬物療法関連についての負担意識や薬剤師の病棟における業務の状況等についてアンケート調査を行う。 中央社会保険医療協議会の平成26年度答申書附帯意見において、「チーム医療の推進等を含め、医療従事者の負担軽減措置の影響を調査・検証し、それらの在り方を引き続き検討すること。」とされているところであり、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討又は検証するために、薬剤師や関係職種の病棟配置や病棟業務に係る実態等の調査を行うことができる。									
	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度	%		-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善			
項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	-	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-	
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 平成28年度実績なし 平成28年度は、薬価制度の抜本改革に向けた基本方針の作成に係る中医協、国会対応等で膨大な作業時間がかかったため、本事業の執行を行うことができなかった。 </div>
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		本調査と類似調査は薬剤管理等に係る調査であるが、調査内容、調査客体及び調査手法等が異なるため適切に役割分担できている。
	所管府省名	事業番号	
厚生労働省	0285	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費(薬局のかかりつけ機能に係る実態調査費)	
点検・改善結果	点検結果	平成28年度診療報酬改定結果検証に係る特別調査で本事業を行ったため、診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費での執行実績はなし。	
	改善の方向性	平成28年度診療報酬改定結果検証に係る特別調査で本事業を行ったため、診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費での執行実績はなし。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の事業内容改善	予定していた調査が行えない場合における、当初の事業目的の達成について検討すること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	予定していた調査を行えない場合には、診療報酬改定に向けての評価体系の整理に必要な基礎資料が得られないため、毎年度適切な執行に努めることを検討する予定		

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	新23-095	平成24年度	937		
平成25年度	263	平成26年度	275	平成27年度	285		
平成28年度	279						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

平成28年度実績なし

(参考)平成27年度実績

厚生労働省
5百万円

〔 事業の企画、全体調整等、事業全体の進行管理 〕



【一般競争契約(最低価格)】

A. EYアドバイザリー株式会社
5百万円

〔 事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	--	